

小平組御検地ニ付差上申証文之事

一 今度、小平組之内 榎森村・上舟子村・小平村「御検地依^お被^おせつけらるる
に」
 仰付、則 御検地野帳日々ニ「御借被^お遊候ニ付、惣百姓立
すなわち 合吟味仕候之」所、位付并間数・反別等迄相違之義無ニ」御座
 候事

一 御検地ニ付、各様并御竿取衆迄、依怙えこひ鼠「扨其外御非分之儀、
おのおのさま 何ニ而も一切無ニ御座ニ候」事

一 為^{れい}ニ礼物、音物・金銀・米銭・依類(衣)・諸道具、「其外少之物ニ而
いんもつ も、各様者不^レ及^レ申、御竿」取衆へも一切進上不^レ仕候、勿論御
ちまう 馳走「ケ間敷義不^レ仕候、且又、御召仕衆中ニ至」迄、御逗
りまう 留之内、御非分之義毛頭御」座なく候事

右之通りニ御座候得者、向後可^こニ申上ニ義無ニ」御座ニ候、自今以後
 いか様と茂申上候者、「何様之曲事ニ茂可^こ被^お仰付ニ候、為^な後日、」
 連判証文差上候、以上

上野国山中領下山郷小平組之内小平村

名主代

惣右衛門

元禄七年戊五月

御案内

茂右衛門印

同

五右衛門印

同

武兵衛印

同

与右衛門印